

ソフトウェア設計及び実験 レポート作成の練習課題

6119019056 山口力也

2019/04/09

1 実習の目的

実習の目的は以下のとおりである.

- L^AT_EX の使い方を習得する.
- gnuplot の使い方を習得する.
- Dia の使い方を習得する.

なお、L^AT_EX の詳細については、参考文献 [1],[2]などを参照すること.

2 原理・アルゴリズム

2.1 Dia で作成した図の挿入

図 1 は,Dia で作成したポストスクリプトファイルを挿入したものである.

2.2 gnuplot で作成した図の挿入

図 2 は、ファイル”datafile”中の数値を gnuplot でグラフ化した後,Dia で加工した図を挿入したものである.

3 表を作成する練習

表 1 は、ファイル”datafile”の数値を表にまとめたものである.

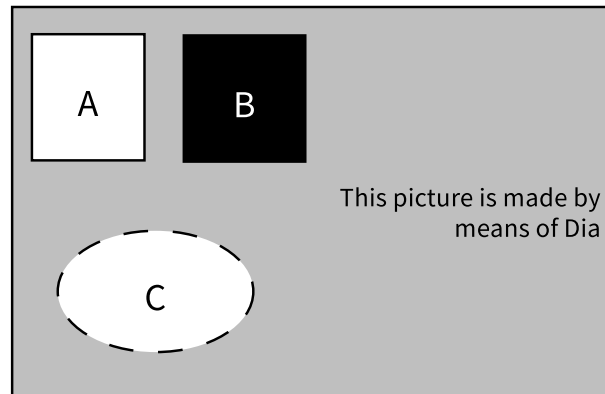


図 1: Dia により作成された図

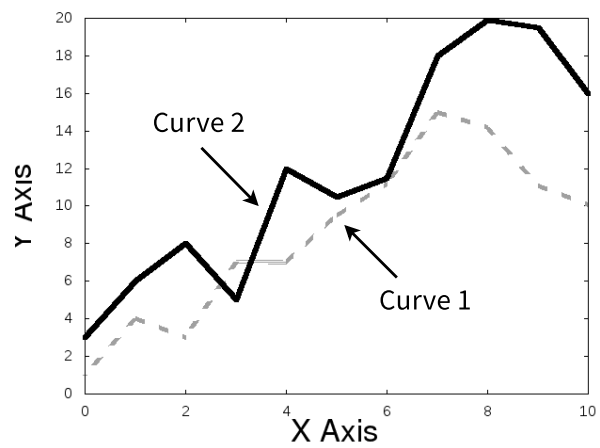


図 2: gnuplot と Dia を用いて作成された図の挿入例

表 1: 表の例

x	y_1	y_2
0.0	1.0	3.0
1.0	4.0	6.0
2.0	3.0	8.0
3.0	7.0	5.0
4.0	7.0	12.0
5.0	9.5	10.5
6.0	11.2	11.5
7.0	15.0	18.0
8.0	14.2	19.9
9.0	11.1	19.5
10.0	10.1	16.0

参考文献

- [1] 奥村 晴彦: LaTeX2 美文書作成入門 改訂第 4 版, 技術評論社 (2006).
- [2] 松田七美男: Linux 活用術, 東京電機大学出版局 (1998).

4 本実験に対する意気込みなど

編入生ということで一つ下の学年の子と一緒に実験をすることになるので、他の子を先導しつつ、能動的に色々なことにチャレンジしたい。